



個別指導塾フォルテ

×



# 算数

## 4年生

### 第11節

### わり算の筆算(2)



2けたの数でわるわり算の筆算をマスターしよう！

【例題1】何十でわるわり算の計算をやってみよう！

ゼルビーは、100mのトラックを同じ長さずつ20こに分けて印をつけました。何mごとに印をつけることになりますか。

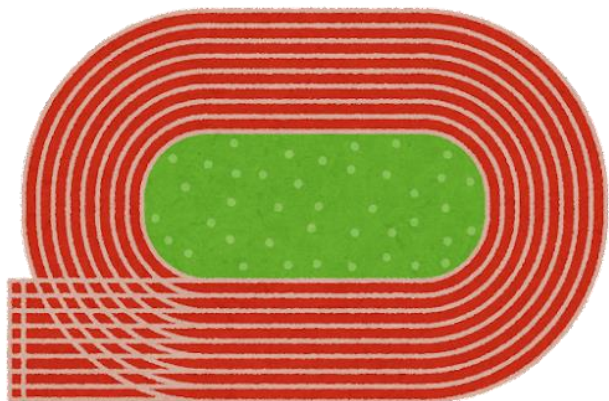
■とき方

式は $100 \div 20$ です。

この計算は、わられる数とわる数から0を省いて

$10 \div 2$ と同じように考えることができ、答えは5となります。

答え：5m



【例題2】2けたでわるわり算の筆算をやってみよう！

11人のサッカー選手が、90まいの色紙にサインをしていきます。全員が同じまい数にサインをするとき、1人何まいサインをし、何まいあまりますか。

■とき方

式は $90 \div 11$ です。

筆算

$$\begin{array}{r} 8 \\ 11 \overline{) 90} \\ \underline{88} \\ 2 \end{array}$$

$90 \div 11 = 8$ あまり2となる。

答え：1人8まいサインをし、色紙は2まいあまる。

ゼルビーは、2時間で算数の問題に21こ取り組むことにしました。1問にかかる時間が全て同じだとすると、1問あたり何分かかり、何分あまりますか。筆算を用いて求めましょう。

【式】



【答え】

## 【コラム】 けん算とその利用

第8節のコラムでは、けん算の仕方について学んだね

あまりにあるわり算では、(わる数) $\times$ (商)+(あまり)をして、出てきた答えが(わられる数)と同じになるかどうかをみることでけん算ができるよ！もし同じになれば、自分の計算が正しかったといえるね！

ここで、(わる数) $\times$ (商)+(あまり)から(わられる数)を算出する方法を、けん算だけでなく、問題をとくうえで利用できる場合があるよ！

そのような問題が後半に登場するから、チャレンジしてみよう！

$$10 \div 6 = 1 \text{ 残り } 6$$

$$(\text{わられる数}) \div (\text{わる数}) = (\text{商}) (\text{あまり})$$

このけん算は

$$6 \times 1 + 4 = 10$$

$$(\text{わる数}) \times (\text{商}) + (\text{あまり}) = (\text{わられる数})$$

だね！



FC町田ゼルビアは、ある一定時間グラウンドを借りて基そトレーニングを行うことになり、黒田監督（かんとく）は練習計画を立てています。

黒田監督は、グラウンドを利用できる時間の中で、なるべく多く基そトレーニングを行い、あまった時間を休けいに回したいと考えています。

もし、基そトレーニングの時間を1セットあたり15分にした場合、トレーニングを12セット行い、休けいを10分取ることができます。

基そトレーニングの時間を1セットあたり13分にすると、トレーニングは何セット行えて、休けいは何分取れますか。筆算を用いて求めましょう。

ただし、グラウンドを利用できる時間内は、「基そトレーニング」もしくは「休けい」しか行わないものとします。

【式】

【筆算】

ヒント

まず、グラウンド  
を利用できる時間  
を求めよう!

【答え】





個別指導塾フォルテ

×



# 算数

## 答え合わせ

### 4年生

第11節

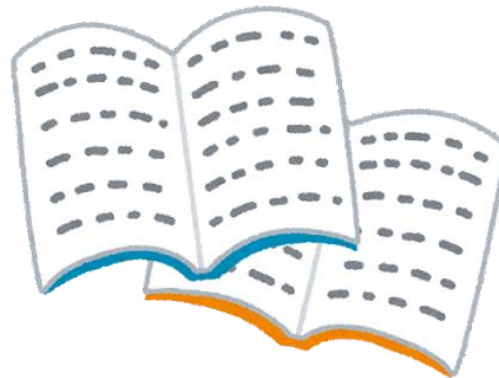
## わり算の筆算(2)

ゼルビーは、2時間で算数の問題に21こ取り組むことにしました。1問にかける時間が全て同じだとすると、1問あたり何分かかり、何分あまりますか。筆算を用いて求めましょう。

【式】

まず、2時間は120分です。  
120分で21この問題に取り組むので、  
 $120 \div 21 = 5$  あまり15

$$\begin{array}{r} 5 \\ 21 \overline{) 120} \\ \underline{105} \\ 15 \end{array}$$



このように、わり算は、勉強の計画を立てるときにも役立つよ！  
わり算を使うことによって、  
「ひまな2時間の中で1問〇分でとくと□問終わらせられそう！」  
「好きな芸能人の配信が始まるまでに〇問解くには1問□分でとけば間に合いそう！」  
といったように、勉強の進み具合を予測して時間を効率（こうりつ）よく使うことができるよ！

【答え】

1問あたり5分かかり、15分あまる。

FC町田ゼルビアは、ある一定時間グラウンドを借りて基そトレーニングを行うことになり、黒田監督（かんとく）は練習計画を立てています。黒田監督は、グラウンドを利用できる時間の中で、なるべく多く基そトレーニングを行い、あまった時間を休けいに回したいと考えています。

もし基そトレーニングの時間を1セットあたり15分にした場合、トレーニングを12セット行い、休けいを10分取ることができます。

基そトレーニングの時間を1セットあたり13分にすると、トレーニングは何セット行えて、休けいは何分取れますか。筆算を用いて求めましょう。

ただし、グラウンドを利用できる時間内は、「基そトレーニング」もしくは「休けい」しか行わないものとします。

【式】

グラウンドを利用できる時間は、

$$15 \times 12 + 10 = 190 \quad \text{よって} 190 \text{分}$$

190分の中で、1セット13分の基そトレーニングをなるべく多く行うと考えると、

$$190 \div 13 = 14 \text{あまり} 8$$

【答え】

基そトレーニングを14セット行うことができ、休けいを8分取ることができる。

【筆算】

$$\begin{array}{r} 14 \\ 13 \overline{) 190} \\ \underline{13} \phantom{0} \\ 60 \\ \underline{52} \\ 8 \end{array}$$



コラムで出てきた  
(わる数) × (商) + (あまり)  
から (わられる数) を算出する方法  
を、グラウンドを利用できる時間を  
求めるときに使っているよ!

